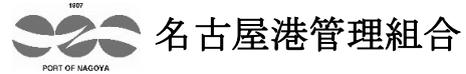


平成30年9月28日



## 平成30年名古屋港上半期港湾統計速報

### (概況)

入港船舶は、隻数が16,453隻(前年同期比0.6%減)、総トン数が1億1,759万トン(同2.1%増)と、隻数は前年実績を下回り、総トン数は前年実績を上回った。

総取扱貨物量は、9,795万トン(同1.4%減)と前年実績を下回った。

そのうち、外貿貨物では、輸出は完成自動車、産業機械等が増加し、2,692万トン(同4.0%増)と前年実績を上回り、輸入はLNG(液化天然ガス)、原油等の減少により3,764万トン(同2.7%減)と前年実績を下回り、全体では6,456万トンと前年並みだった。

また、内貿貨物では、移出は1,750万トン(同7.5%減)と前年実績を下回り、移入は1,589万トンと前年並みとなり、全体で3,339万トン(同4.1%減)と前年実績を下回った。

外貿貨物のうち、コンテナ貨物では、輸出は産業機械等の増加により1,226万トン(同0.1%増)、輸入は衣類・身廻品等の増加により1,214万トン(同0.6%増)とともに前年実績を上回り、全体で2,440万トン(同0.3%増)と前年実績を上回った。

コンテナ取扱個数は、外貿コンテナが132万TEU(同4.0%増)、内貿コンテナが9万TEU(同12.6%減)となり、外内貿合わせて141万TEU(同2.8%増)と前年実績を上回った。

外貿貨物の国別取扱貨物量は、上位5国を見ると、輸出においては、中国が自動車部品の減少により327万トン(同11.4%減)、アメリカが完成自動車等の増加により220万トン(同5.5%増)、アラブ首長国が完成自動車等の増加により215万トン(同9.4%増)、タイが再利用資材等の増加により129万トン(同6.3%増)、オーストラリアが非金属鉱物等の減少により124万トン(同9.4%減)となった。

一方、輸入においては、オーストラリアが鉄鉱石等の減少により749万トン(同2.5%減)、中国が鉄鉱石等の増加により668万トン(同15.2%増)、カタールがLPG(液化石油ガス)等の減少により327万トン(同10.9%減)、アメリカがとうもろこし等の減少により260万トン(同7.5%減)、マレーシアがLNG(液化天然ガス)等の増加により226万トン(同30.6%増)となった。

<お問合せ先>

名古屋港管理組合企画調整室統計センター

担当：北村、久米 (TEL: 654-8019<内線2923>)

## 平成30年上半期 港湾統計

(単位：隻・総トン)

入港船舶	平成30年		平成29年		前年比 (%)	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
総数	16,453	117,592,576	16,546	115,161,965	99.4	102.1
外航船舶	3,955	98,284,594	3,884	95,774,994	101.8	102.6
内数 コンテナ船	2,027	43,775,545	2,000	45,210,063	101.4	96.8
内航船舶	12,498	19,307,982	12,662	19,386,971	98.7	99.6

(単位：トン・TEU・台)

取扱貨物量		数量		数量		前年比 (%)		
総数		97,947,935		99,360,070		98.6		
外 貿	計(トン)	64,559,136		64,560,348		100.0		
	輸出	26,922,669		25,881,372		104.0		
	輸入	37,636,467		38,678,976		97.3		
内 貿	計(トン)	33,388,799		34,799,722		95.9		
	移出	17,498,601		18,909,032		92.5		
	移入	15,890,198		15,890,690		100.0		
コ ン テ ナ 計	ト ン 数	計(トン)	24,737,845		24,812,768		99.7	
		輸移出	12,472,900		12,512,087		99.7	
		輸移入	12,264,945		12,300,681		99.7	
	個 数	計(TEU)	1,408,890		1,370,212		102.8	
		輸移出	701,585		684,182		102.5	
		輸移入	707,305		686,030		103.1	
外 貿 コ ン テ ナ	ト ン 数	計(トン)	24,396,376		24,316,025		100.3	
		輸出	12,255,602		12,244,665		100.1	
		輸入	12,140,774		12,071,360		100.6	
	個 数	計(TEU)	1,321,100		1,269,816		104.0	
		輸出	681,442		661,094		103.1	
		輸入	639,658		608,722		105.1	
内 貿 コ ン テ ナ	ト ン 数	計(トン)	341,469		496,743		68.7	
		移出	217,298		267,422		81.3	
		移入	124,171		229,321		54.1	
	個 数	計(TEU)	87,790		100,396		87.4	
		移出	20,144		23,088		87.2	
		移入	67,646		77,308		87.5	
フ ェ リ ー 貨 物 ( 内 貿 内 数 )	一 般 乗 用 車 ( 台 )	計(台)	9,427		9,028		104.4	
		移出	4,652		4,922		94.5	
		移入	4,775		4,106		116.3	
	一 般 貨 物 車 ( 台 )	計(台)	19,461		19,158		101.6	
		移出	10,123		10,123		100.0	
		移入	9,338		9,035		103.4	
	そ の 他 貨 物	計(トン)	227,950		215,140		106.0	
		移出	160,890		150,860		106.6	
		移入	67,060		64,280		104.3	

## 外貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	26,922,669	104.0	合 計	37,636,467	97.3
完成自動車	13,163,869	105.8	LNG(液化天然ガス)	8,360,777	97.4
自動車部品	5,051,237	97.2	鉄鉱石	5,595,030	101.3
産業機械	1,607,239	116.9	原油	3,476,731	79.2
鋼材	1,184,408	97.6	石炭	2,954,876	100.7
その他化学工業品	805,409	109.7	衣服・身廻品・はきもの	1,357,211	103.1
その他	5,110,507	104.0	その他	15,891,842	99.8

## 外貿主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比(%)	国・地域名	トン数	前年比(%)
合 計	26,922,669	104.0	合 計	37,636,467	97.3
中国	3,274,701	88.6	オーストラリア	7,485,545	97.5
アメリカ	2,201,940	105.5	中国	6,682,391	115.2
アラブ首長国	2,146,614	109.4	カタール	3,273,491	89.1
タイ	1,294,511	106.3	アメリカ	2,600,241	92.5
オーストラリア	1,244,692	90.6	マレーシア	2,260,447	130.6
その他	16,760,211	107.8	その他	15,334,352	90.3

## 内貿主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	17,498,601	92.5	合 計	15,890,198	100.0
完成自動車	11,833,090	97.7	完成自動車	6,564,420	92.9
鉄鋼	790,222	104.5	鋼材	2,327,763	96.5
鋼材	598,048	89.6	揮発油	917,709	全増
その他の石油	566,891	31.4	化学薬品	894,447	98.2
揮発油	535,231	全増	セメント	787,794	115.9
その他	3,175,119	88.8	その他	4,398,065	91.2

## 内貿主要上位港取扱貨物表

(単位：トン・%)

移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比(%)	港 名	トン数	前年比(%)
合 計	17,498,601	92.5	合 計	15,890,198	100.0
仙台塩釜	3,502,744	94.9	仙台塩釜	1,962,308	97.6
苫小牧	2,890,483	96.5	水島	1,402,859	94.2
千葉	1,855,933	87.6	中津	1,277,870	78.5
川崎	1,581,068	94.9	四日市	1,191,195	100.6
北九州(門司)	902,347	89.1	苫小牧	1,170,891	100.8
その他	6,766,026	91.1	その他	8,885,075	105.6

## 外貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	12,255,602	100.1	合 計	12,140,774	100.6
自動車部品	5,050,410	97.2	衣服・身廻品・はきもの	1,357,211	103.1
産業機械	1,366,843	112.8	自動車部品	1,003,584	86.0
完成自動車	973,682	106.9	電気機械	890,082	106.8
その他化学工業品	805,174	110.0	その他化学工業品	853,712	116.6
ゴム製品	546,120	87.5	輸送用容器	847,393	85.5
その他	3,513,373	98.3	その他	7,188,792	102.2

## 外貿コンテナ主要上位国取扱貨物表

(単位：トン・%)

輸 出			輸 入		
国・地域名	トン数	前年比(%)	国・地域名	トン数	前年比(%)
合 計	12,255,602	100.1	合 計	12,140,774	100.6
中国	2,826,642	87.9	中国	5,179,807	98.9
アメリカ	1,568,240	93.3	アメリカ	737,471	84.1
タイ	959,903	108.8	台湾	732,343	138.6
オランダ	468,912	116.8	タイ	695,417	96.7
南アフリカ	436,857	109.2	中国(ホンコン)	679,954	102.4
その他	5,995,048	105.9	その他	4,115,782	101.8

## 内貿コンテナ主要上位品種取扱貨物表

(単位：トン・%)

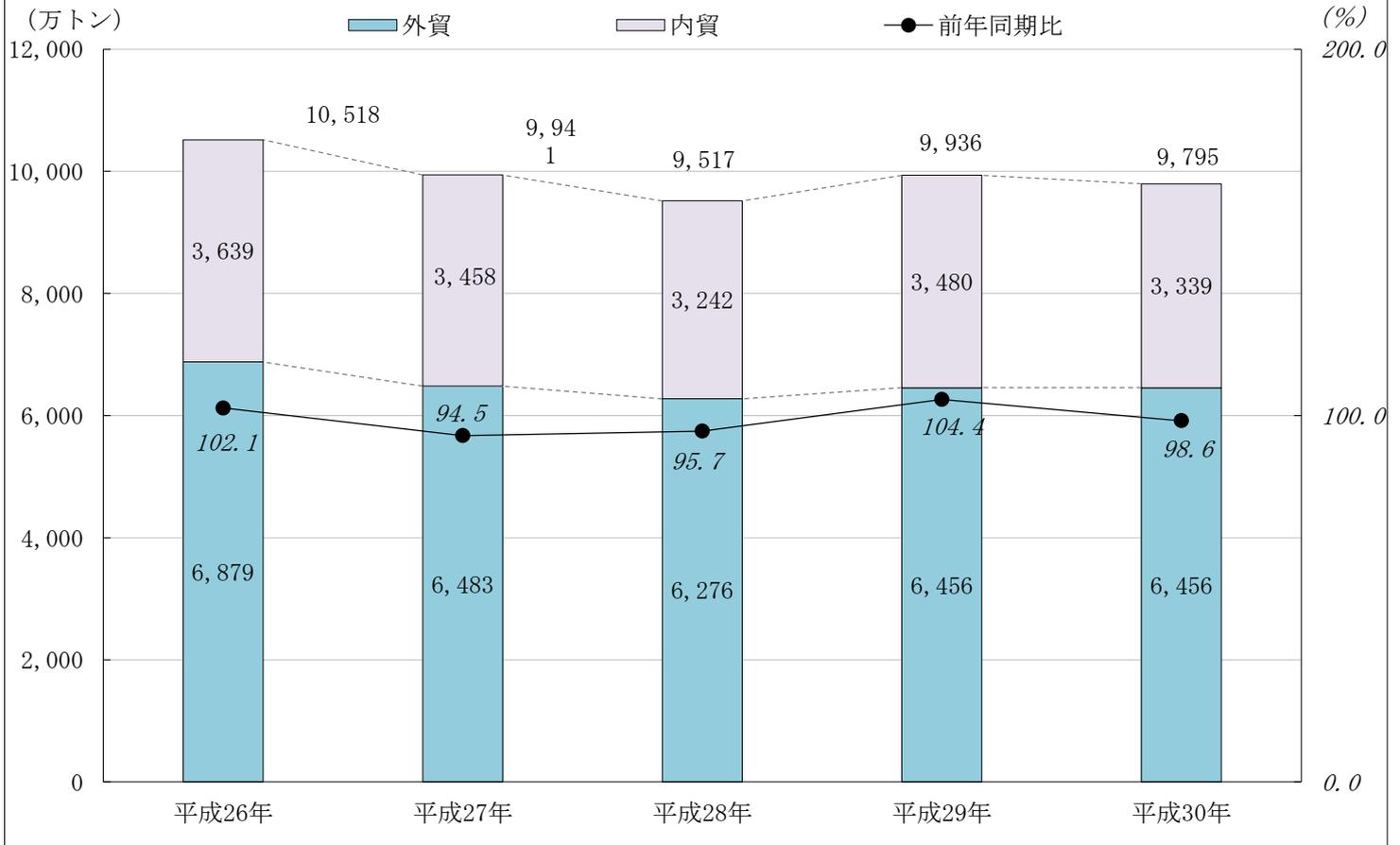
移 出			移 入		
品 種	トン数	前年比(%)	品 種	トン数	前年比(%)
合 計	217,298	81.3	合 計	124,171	54.1
自動車部品	176,144	75.9	自動車部品	63,768	64.5
家具装備品	34,783	105.5	輸送用容器	7,924	33.9
取合せ品	1,350	1406.3	動植物性製造飼肥料	6,085	80.6
輸送用容器	950	110.5	その他農産品	5,400	116.6
その他日用品	807	2373.5	製造食品	4,506	79.3
その他	3,264	250.9	その他	36,488	40.9

## 内貿コンテナ主要上位港取扱貨物表

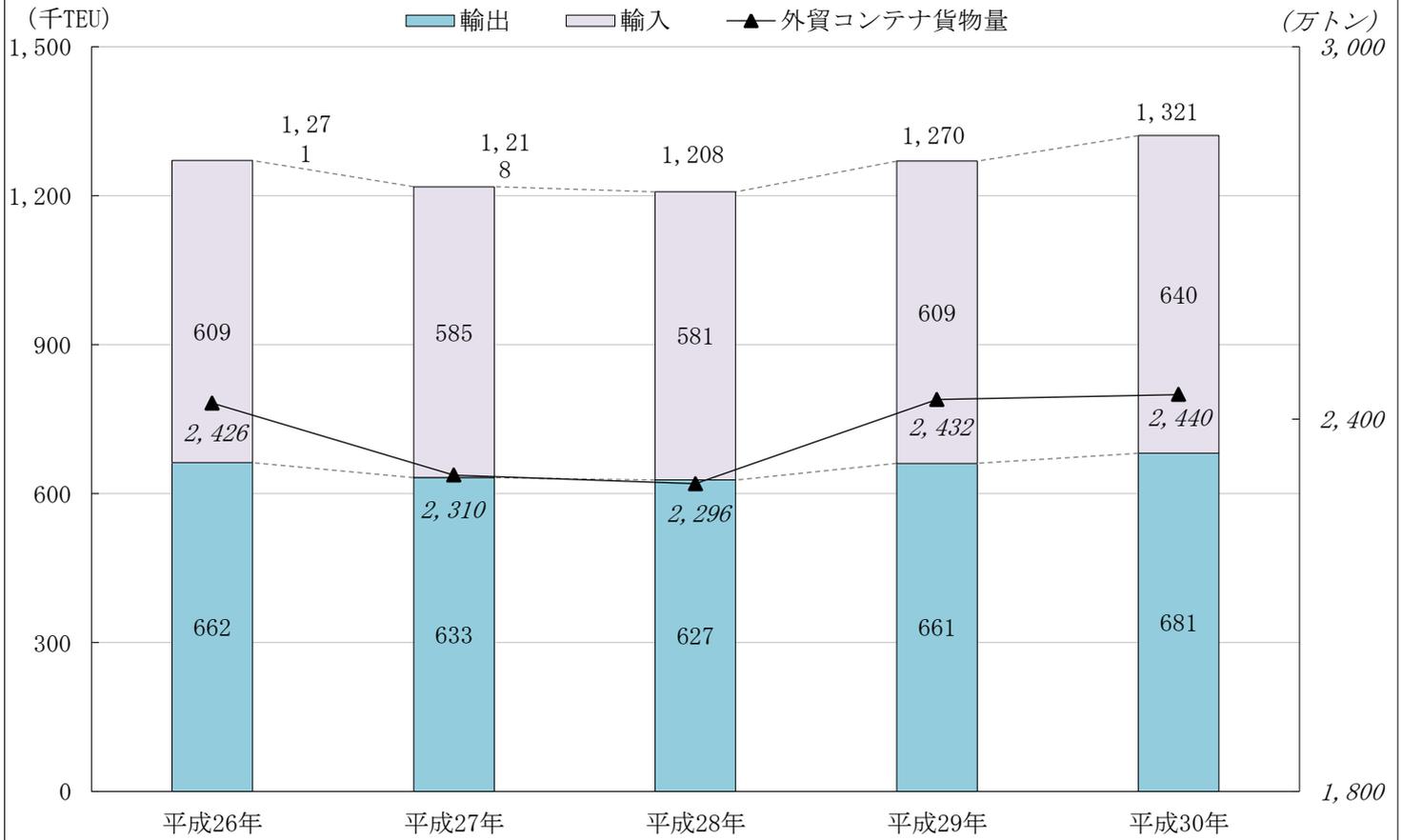
(単位：トン・%)

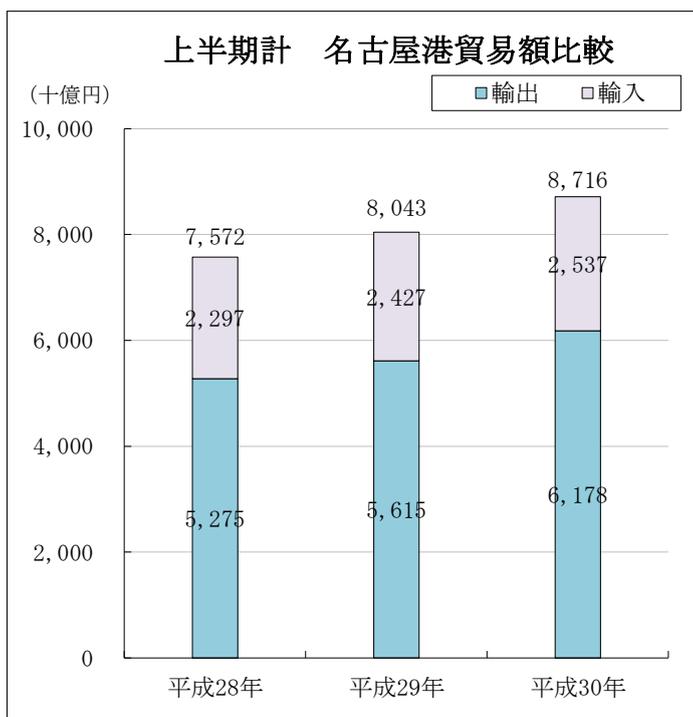
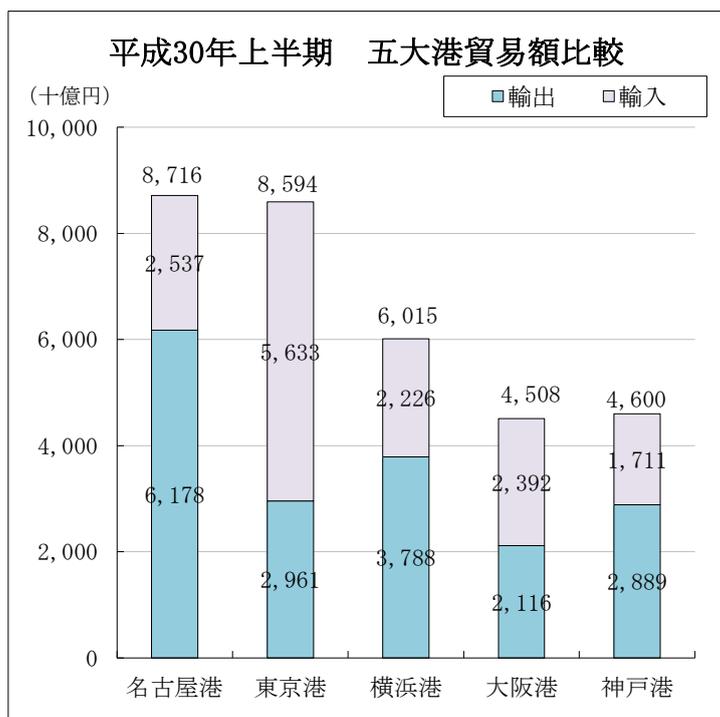
移 出			移 入		
港 名	トン数	前年比(%)	港 名	トン数	前年比(%)
合 計	217,298	81.3	合 計	124,171	54.1
横浜	96,116	64.4	横浜	50,686	60.7
東京	78,769	113.3	東京	50,378	76.6
川崎	36,678	88.8	博多	10,800	86.1
那覇	3,932	全増	北九州(門司)	5,592	84.0
苫小牧	919	83.8	御前崎	2,028	全増
その他	884	14.0	その他	4,687	7.7

### 上半期 取扱貨物量比較



### 上半期 外貿コンテナ取扱個数、取扱貨物量比較





財務省資料による

## 五大港貿易額比較表

平成30年上半期

港名	年	輸出			輸入			合計		
		貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)	貿易額 (百万円)	五大港 構成比 (%)	全国 構成比 (%)
名古屋港	平成30年	6,178,317	34.5%	15.4%	2,537,471	17.5%	6.4%	8,715,788	26.9%	10.9%
	平成29年	5,615,496	34.5%	14.9%	2,427,051	17.4%	6.6%	8,042,547	26.6%	10.8%
	前年比 (%)	110.0%			104.5%			108.4%		
東京港	平成30年	2,960,724	16.5%	7.4%	5,632,846	38.8%	14.2%	8,593,569	26.5%	10.8%
	平成29年	2,784,943	17.1%	7.4%	5,693,992	40.7%	15.5%	8,478,935	28.0%	11.4%
	前年比 (%)	106.3%			98.9%			101.4%		
横浜港	平成30年	3,788,291	21.1%	9.4%	2,226,287	15.4%	5.6%	6,014,578	18.5%	7.6%
	平成29年	3,431,357	21.1%	9.1%	2,007,739	14.4%	5.5%	5,439,096	18.0%	7.3%
	前年比 (%)	110.4%			110.9%			110.6%		
大阪港	平成30年	2,116,255	11.8%	5.3%	2,392,165	16.5%	6.1%	4,508,420	13.9%	5.7%
	平成29年	1,713,507	10.5%	4.5%	2,268,750	16.2%	6.2%	3,982,257	13.2%	5.3%
	前年比 (%)	123.5%			105.4%			113.2%		
神戸港	平成30年	2,888,865	16.1%	7.2%	1,711,205	11.8%	4.3%	4,600,070	14.2%	5.8%
	平成29年	2,710,885	16.7%	7.2%	1,587,687	11.4%	4.3%	4,298,572	14.2%	5.8%
	前年比 (%)	106.6%			107.8%			107.0%		
五大港計	平成30年	17,932,451	100.0%	44.7%	14,499,974	100.0%	36.7%	32,432,426	100.0%	40.7%
	平成29年	16,256,187	100.0%	43.0%	13,985,219	100.0%	38.0%	30,241,407	100.0%	40.6%
	前年比 (%)	110.3%			103.7%			107.2%		
全国計	平成30年	40,131,368		100.0%	39,530,583		100.0%	79,661,951		100.0%
	平成29年	37,785,840		100.0%	36,775,753		100.0%	74,561,594		100.0%
	前年比 (%)	106.2%			107.5%			106.8%		

財務省資料による

## 平成30年（6月累計）港湾統計速報（解説）

### 1 入港船舶

- ・入港船舶の総数は、前年比で隻数は0.6%減少したが、総トン数は2.1%増加した。
- ・このうち外航船舶については、隻数、総トン数ともに前年比を上回った。
- ・外航コンテナ船については隻数は前年比を上回り、総トン数は前年比を下回った。
- ・内航船舶については、隻数、総トン数ともに前年比を下回った。

### 2 取扱貨物量

- ・総取扱貨物量は9,795万トン、前年比1.4%減となった。
- ・外貿は、輸出で自動車部品が減少したが、完成自動車が増加し、前年比を上回った。  
輸入は、鉄鉱石は増加したが、原油、LNG(液化天然ガス)が減少し、前年比を下回った。外貿全体では6,456万トン、前年並みとなった。内貿は移出で減少し、内貿全体では3,339万トン、前年比4.1%減となった。
- ・コンテナ取扱個数は141万TEU、前年比2.8%増となった。そのうち、外貿コンテナ取扱個数は、前年比4.0%増となった。

#### (1) 外貿貨物

- 輸出
- ・完成自動車は、アメリカ、サウジアラビア等で増加し、前年比72万トン増（5.8%増）となった。
  - ・自動車部品は、中国、アメリカ等で減少し、前年比15万トン減（2.8%減）となった。
  - ・産業機械は、中国、インド等で増加し、前年比23万トン増（16.9%増）となった。
- 輸入
- ・LNG(液化天然ガス)は、イギリス、エジプト、ナイジェリア等で減少し、前年比22万トン減（2.6%減）となった。
  - ・鉄鉱石は、中国、南アフリカ等で増加し、前年比7万トン増（1.3%増）となった。
  - ・原油は、サウジアラビア、クウェート等で減少し、前年比91万トン減（20.8%減）となった。

#### <上位国>

- 輸出
- ・中国は、自動車部品、再利用資材等の減少により前年比42万トン減（11.4%減）となった。
  - ・アメリカは、完成自動車等の増加により前年比12万トン増（5.5%増）となった。
  - ・アラブ首長国は、完成自動車等の増加により前年比18万トン増（9.4%増）となった。

- 輸入
- ・オーストラリアは、鉄鉱石等の減少により前年比 19 万トン減 (2.5%減) となった。
  - ・中国は、鉄鉱石、金属製品等の増加により前年比 88 万トン増 (15.2%増) となった。
  - ・カタールは、LPG (液化石油ガス)、原油等の減少により前年比 40 万トン減 (10.9%減) となった。

## (2) コンテナ貨物

### 外貿コンテナ

- 輸出
- ・自動車部品は、中国、アメリカ等で減少し前年比 14 万トン減 (2.8%減) となった。
  - ・産業機械は、中国、インド等で増加し、前年比 16 万トン増 (12.8%増) となった。
  - ・完成自動車は、南アフリカ等で増加し、前年比 6 万トン増 (6.9%増) となった。
- 輸入
- ・衣服・身廻品・はきものは、韓国、ベトナム等で増加し、前年比 4 万トン増 (3.1%増) となった。
  - ・自動車部品は、ベトナム、シンガポール等で減少し、前年比 16 万トン減 (14.0%減) となった。
  - ・電気機械は、韓国、マレーシア等で増加し、前年比 6 万トン増 (6.8%増) となった。

### <上位国>

- 輸出
- ・中国は、自動車部品、再利用資材等が減少し、前年比 39 万トン減 (12.1%減) となった。
  - ・アメリカは、自動車部品、電気機械等が減少し、前年比 11 万トン減 (6.7%減) となった。
  - ・タイは、再利用資材、完成自動車等が増加し、前年比 8 万トン増 (8.8%増) となった。
- 輸入
- ・中国は、輸送用容器、家具装備品等が減少し、前年比 6 万トン減 (1.1%減) となった。
  - ・アメリカは、輸送用容器、動植物性製造飼肥料等が減少し、前年比 14 万トン減 (15.9%減) となった。
  - ・台湾は、その他化学工業品、木製品等が増加し、前年比 20 万トン増 (38.6%増) となった。

### (3) 内貿貨物

移出 ・ 完成自動車は、仙台塩釜、千葉等で減少し、前年比 28 万トン減 (2.3%減) となった。

・ 鉄鋼は、姫路、呉等で増加し、前年比 3 万トン増 (4.5%増) となった。

移入 ・ 完成自動車は、中津、仙台塩釜等で減少し、前年比 50 万トン減 (7.1%減) となった。

・ 鋼材は、大分、北九州 (戸畑) 等で減少し、前年比 9 万トン減 (3.5%減) となった。

### (4) 貿易額

・ 名古屋港の平成 30 年 6 月累計の貿易額は、五大港中、輸出額が第 1 位、輸入額が第 2 位、合計では前年比 8.4%増の 8 兆 7,158 億円で第 1 位となった。

・ 貿易黒字額は前年比 14.2%増の 3 兆 6,408 億円で五大港中 1 位となった。